

令和2年度 津市地域防災計画（資料編）の修正箇所一覧表（案）

No.	頁	行	旧	新							
1	320	表中	4 7 地区防災計画 (略) (新設)	<p>4 7 地区防災計画 (略) <u>(津西ハイタウン地区防災計画)</u></p> <p style="text-align: right;">2020(令和2)年8月作成</p> <p>津西ハイタウン地区防災計画 津西ハイタウン自治会・自主防災会</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">津西ハイタウンのすがた</th> <th style="width: 50%;">津西ハイタウンの防災力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>昭和62（1987）年 旧津市西部の丘陵地に造成された住宅団地</p> <p>世帯数…720戸、人 口…1,783人（2020年3月31日時点）</p> <p>面 積…約0.3km²、海 抜（セントラルパーク基準）…21.6m</p> <p>※ハザードマップから ・南海トラフ地震想定震度<6強> ・津波浸水地域<対象外> ・洪水想定地域<対象外> ・土砂災害（特別）警戒区域<急傾斜地4か所></p> </td> <td> <p>【プラス面】</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波、河川氾濫による洪水、大規模土砂災害の心配がない環境 全戸が昭和56年の耐震基準に適合する住宅 <p>【マイナス面】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民の高齢化が進展 宅地造成による地盤の弱い部分がある 自治会の歴史が浅く、地域の連帯感が希薄 </td> </tr> </tbody> </table> <p>計画の基本方針</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;"> <p>在宅（自宅）避難を基本とし、安否確認など共助による見守りを徹底します。（注）</p> </td> <td style="width: 33%; text-align: center;"> <p>在宅避難に耐えうる自助を促進します。</p> </td> <td style="width: 33%; text-align: center;"> <p>『顔の見える防災活動』を推進し、【地域の絆】を培います。</p> </td> </tr> </table> <p>（注）ただし、自宅が崩壊し又は崩壊の危険があり、在宅が困難な場合は、指定避難所や友人・知人宅、マイカー内など最善な場所へ避難します。</p> <p>活動目標</p> <p>災害発生時の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部の設置 集会所に自治会長を本部長とする災害対策本部を設置して、自主防災活動を推進します。 ・安否確認と被害実態の把握 住民による「向こう三軒両隣」の安否確認を行い、その結果をブロック長・班長が集約して災害対策本部で被害実態を把握します。 ・災害時要支援者対策 ブロック長・班長が近隣住民と協力して、「災害時要支援者」の安全を確保します。 ・災害発生時の支援 リ災者（世帯）に対して、消火器による初期消火や負傷者の救出・救助と応急処置、その他被害の拡大防止についての支援活動を行います。 <p>平常時の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災知識の普及・啓発活動 各種研修会や防災訓練を計画的に実施して、防災意識の醸成と防災に関する知識・技術の向上に努めます。 ・共助の充実 ブロック単位の活動や「明寿会」、趣味のグループなどが主体となった『顔の見える防災活動』を推進して、住民相互の共助意識の醸成に努めます。 ・防災情報の収集・活用 『助け合い住民台帳』や『災害時要支援者名簿』を作成して災害発生等に備えるほか、防災関連情報の収集・活用にも努めます。 ・防災資機材等の整備・保全 防災倉庫等に災害発生時に活用する資機材を備蓄し、常に使用できるよう点検・整備に努めます。 ・各家庭における防災必需品の備蓄 防災必需品の共同購入を行うほか、食料品や日用品等の「ローリングストック」に心掛けるよう啓発します。 ・各家庭における耐震対策 自宅の耐震診断や家具等の転倒防止対策、ガラス飛散防止対策等の地震対策に掛けるよう啓発します。 	津西ハイタウンのすがた	津西ハイタウンの防災力	<p>昭和62（1987）年 旧津市西部の丘陵地に造成された住宅団地</p> <p>世帯数…720戸、人 口…1,783人（2020年3月31日時点）</p> <p>面 積…約0.3km²、海 抜（セントラルパーク基準）…21.6m</p> <p>※ハザードマップから ・南海トラフ地震想定震度<6強> ・津波浸水地域<対象外> ・洪水想定地域<対象外> ・土砂災害（特別）警戒区域<急傾斜地4か所></p>	<p>【プラス面】</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波、河川氾濫による洪水、大規模土砂災害の心配がない環境 全戸が昭和56年の耐震基準に適合する住宅 <p>【マイナス面】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民の高齢化が進展 宅地造成による地盤の弱い部分がある 自治会の歴史が浅く、地域の連帯感が希薄 	<p>在宅（自宅）避難を基本とし、安否確認など共助による見守りを徹底します。（注）</p>	<p>在宅避難に耐えうる自助を促進します。</p>	<p>『顔の見える防災活動』を推進し、【地域の絆】を培います。</p>
津西ハイタウンのすがた	津西ハイタウンの防災力										
<p>昭和62（1987）年 旧津市西部の丘陵地に造成された住宅団地</p> <p>世帯数…720戸、人 口…1,783人（2020年3月31日時点）</p> <p>面 積…約0.3km²、海 抜（セントラルパーク基準）…21.6m</p> <p>※ハザードマップから ・南海トラフ地震想定震度<6強> ・津波浸水地域<対象外> ・洪水想定地域<対象外> ・土砂災害（特別）警戒区域<急傾斜地4か所></p>	<p>【プラス面】</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波、河川氾濫による洪水、大規模土砂災害の心配がない環境 全戸が昭和56年の耐震基準に適合する住宅 <p>【マイナス面】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民の高齢化が進展 宅地造成による地盤の弱い部分がある 自治会の歴史が浅く、地域の連帯感が希薄 										
<p>在宅（自宅）避難を基本とし、安否確認など共助による見守りを徹底します。（注）</p>	<p>在宅避難に耐えうる自助を促進します。</p>	<p>『顔の見える防災活動』を推進し、【地域の絆】を培います。</p>									